

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さんが、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	硝子体切除術後の角膜生体力学的特性の変化の検討
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤克人
研究責任者	金沢医科大学 眼科学 水戸毅
研究期間	倫理審査委員会承認日～2026年6月
研究参加拒否	2026年5月31日までにお知らせください。
申込受付期間	上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いいたします。
対象者	2024年1月から2025年6月の間に金沢医科大学眼科にて硝子体手術を施行された症例のうち、白内障同時手術の必要がなく、また手術後3ヶ月の時点までCorvis®を用いたモニタリングが可能だった症例
当該研究の意義・目的	現代の硝子体手術は創口が小さくなり、また手術機器の進歩によって安全に手術がおこなえるようになってきました。しかし主に網膜硝子体疾患を対象におこなう手術であるため、眼の表面に存在する透明な組織である角膜には硝子体手術をおこなうことでどのような影響があるかはほとんど分かっていません。新規に開発されたCorvis®という検査機器は、非常に詳細に角膜の厚みや剛性などを測定することができる、これまでにない新しい検査機器です。この器械は眼圧を測定する際に用いられ、角膜の様々な情報を得ることができ硝子体手術の前後での角膜の状態を検査し比較することで、硝子体手術が角膜に与える影響を評価することができます。現時点では硝子体手術による角膜への影響はほとんどないとされていますが、実際に検査機器を用いて調べられたわけではありません。もし今回の研究の結果として角膜に何らかの影響が生じることが示されれば、今後角膜への負担が少ない術式の開発や手術装置の安全性の向上への寄与につながる可能性があります。
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究は、対象患者さんのカルテから術前後の情報を収集し、得られたデータから角膜の生体力学的特性を解析します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることはありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。集められたデータは学内規程に則り、研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧及び研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお

又は他の研究機関 への提供を停止す る旨について	知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 眼科学 水戸毅 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 📞：（代表）076-286-2211 内線（2211）

作成日： 2025年11月4日